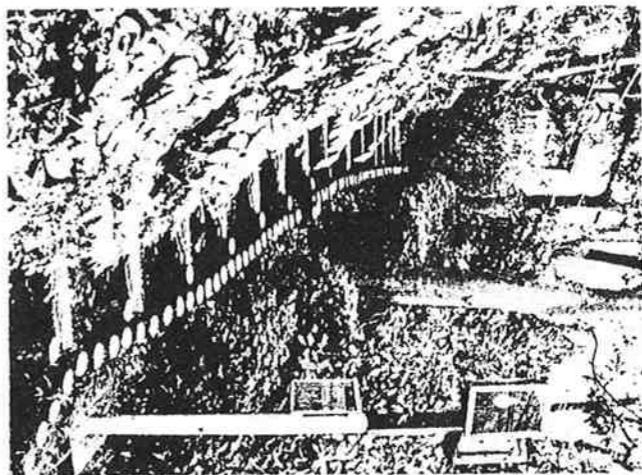


かがまち
マ
ス
ト
ー
ル
ー



なんでもん等を植えこんであります。
新しく、あおき、つづじ、ひげ、ひらき
その面影をたくさんに残して、自然樹の間に
やさを主とした雑木林のがけでしたが、
昔このあたりは、博物館の建物の方まで
やすい階段で歩いています。

この山道は、狭いがけを上手に利用して
見えていて、一見自然のままのように
作られています。そこには、木立の間を縫うように登って行くと、
そこは馬込五丁目公園です。

木立の間を縫うように登って行くと、その手前を右へま
がけを上ってますぐ進むと博物館の
手の階段を上ってますぐ進むと博物館の
へ抜けた駐車場がありますが、そこから博物館
博物館の手前のがけ下に、じんまりと

郷土博物館があります。
湯殿神社の前の道を(前号参照)バス通
りの方へ登って行くと、坂の中程、右側に

けやきの小径
こみち

馬込の散歩道
その二

つえとして持参していっています。
後日馬込富士講による富士登拝(登山用
がっていな枝は一本残しておいて、
また伐採された枝の中から、長くて曲
博物館展示として売られました。
大森の海苔業者にて、(海苔栽培用、郷土
けやきの枝を切り落とし、その枝を
また昔は江戸期から大正期半ばまで
七月一日から一ヶ月間。少年の
非行防止、罪を犯した少年に暖か
い更正の手を差しのべる運動。
◎社会を明くるくする運動(全国)

間などもあって、大木となつたけやきはみ
な枝を止められて、昔のような枝ぶりを見
最近では、日当たりや落ち葉の掃除の手
話は無いそうです。
上の枯れ葉などに火が移って燃えたという
の粉は地上に落ちまるまでに消えるので、火
と枝がり合って火の粉がバラバラと落ち
二月の乾燥期に木枯らしが吹く夜など、枝
広がり、自然のびのびと茂っていて、一
ます。昔は竹ばうきの木に空中にむかって
えています。今でもあちこちに残っていて
馬込には昔からけやきの木がたくさん生
樂しいじめもあります。

ながらいの散歩道を登って行くのも、また
橋の某テバートの天女像で有名な佐藤朝山
の屋敷あとです。そんないとも思ひえがき
五丁目公園と博物館のあたりは、昔日本
見るタ焼けは感動ものです。
静かな所です。また夕暮れ時、この坂から
が、その姿や音もそれほど気にならない
えます。下の坂道を車がけっこつ通りで
や、どんぐり、椎の木の梢もじんもりと見
や常緑樹、左手には湯殿神社の大いちょう
所ですが、武藏野の面影とともに思えるや
立の間から向こうの高台が見えます。狭い木
登り道の途中でひと休み、ふり返ると木
彰されました。表彰式は3月15日
馬込地区関係では次の方々が表
中島宏一(公害健康被害認定審査
会委員)10年以上
齊田昌一(公害健康被害認定審査
会委員)10年以上
佐藤梅子(保健衛生協力員
佐藤通子(伝染病予防委員)
丸山慶祐(10年以上
寺岡鉄二(10年以上
眞島 力
河本みよ子(前馬込第一小学校
長
池谷 静雄(自治会、町会
高橋啓時(投票管理者)20回以上
寺岡鉄二(10年以上
眞島 力
戸澤勝廣氏が来られました。後任所長には
所長が、練谷地域福祉課長として
三年間所長を勤められた内田前
◎馬込特別出張所長の異動
(敬称略)させていただきました
河本みよ子(前馬込第一小学校
長
今年の一月から一月にかけ、馬
込の各自治会、町会を通じて、ア
ダルトイデオ等の自動販売機設置
と営業の規制を求める署名活動が
行わられ、区議会宛一、八名分の署名
が集まり、とともに平成八年の第一
回定期議会に提出されました。

域ぐるみでいのよつな活動を、息
長く続けていきたいものです。
◎西馬込駅にエスカレーター
さくら銀行側の出口に、一月か
まし。ホーム下の通路から改札
上りエスカレーターが設置され
きました。さくら銀行側の出口に、一月か
のよう早く業界に上がれます。

ぐるぐると回って登ったのがうそ
口までつながれ、今までの階段を作
みました。ホーム下の通路から改札を
上りエスカレーターが設置され
きました。さくら銀行側の出口に、一月か
年に早い業界に上がれます。

◎馬込駅にエスカレーター
長く続けていきたいものです。

区域ぐるみでいのよつな活動を、息
が集まり、とともに平成八年の第一
回定期議会に提出されました。

行なわれ、区議会宛一、八名分の署名
が集まり、とともに平成八年の第一
回定期議会に提出されました。

◎馬込青少年対の署名活動
今年の一月から一月にかけ、馬

込の各自治会、町会を通じて、ア
ダルトイデオ等の自動販売機設置
と営業の規制を求める署名活動が
行なわれ、区議会宛一、八名分の署名
が集まり、とともに平成八年の第一

回定期議会に提出されました。

今年も盛り上げました。
恒例の流し踊り、阿波踊りもは
なやかに祭りを盛り上げました。

完コナもでき、文士村にちな
んだお菓子や、特製テレカなどが
人気を集めました。

また「馬込文士村グッズ」の販
売も飛び入りされました。

一年振りに明宝村から磨墨太鼓
も参加、もつま太鼓に西野区長
も飛び入りされました。

今年も盛大に行われました。
びより、桜並木通りと桜並木公園
で、馬込をあげての大桜つまりが
で、馬込をあげての大桜つまりが
今年も盛大に行われました。

馬込情報

◎第六回馬込文士村大桜まつり

4月6日(土)晴、満開のお花見

る

発行 わがまち大田馬込地区推進委員会
事務局 馬込特別出張所
大田区中馬込3-25-5
(3774)3301(代)

馬込情報報

お わ び 先号の「私は馬込の久保屋でです」の記事は、所有者の方にお断りなくまとめて掲載しました。記事内容にも事実大なるもので、関係者の方々に多く迷惑をおかけしてしまいました。記述があり、申しわけに反した記述へ。心からおわび申しあげます。

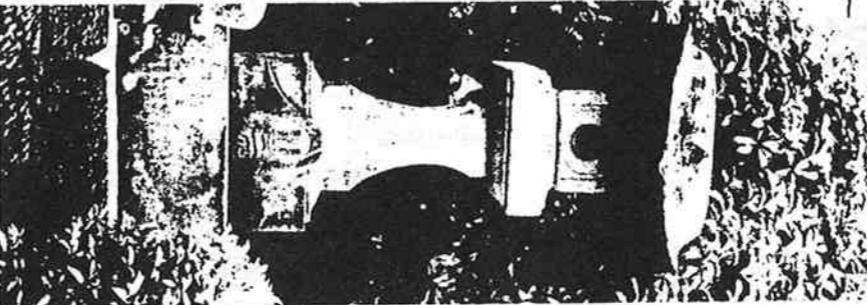


(1) どんぐりの木児童公園
南馬込 1-26-14に新しい
でできました。(三月下旬完成)
囲んでいろいろな草花が植え
いる小さい公園です。
馬込地区綱引き子一ム会員
練習日毎週木曜7時~9時
場所馬込第三小学校
ト高齢者に切手をプレゼント
70才以上の方に、切手五枚
書簡五枚のプレゼントがあ
です。年齢証明持参で7月

南馬込1-26-14に新しい公園でできました。(三月下旬完成)公園にいろいろな草花が植えられ、小さな公園です。馬込地区編引きチーム会員募集練習日は毎週木曜7時~9時場所は馬込第三小学校で高齢者に切手をプレゼント書簡五枚のプレゼントがあるのです。年齢証明持参で7月1日までに郵便局へ行ってみては。

編集後記

馬込特別出張所の所長とも蒙りました。歴史散策が趣味たるもので見かけます。



馬込富士講の

女人禁制の富士登山

一生に一度の大旅行

- 善人は人畜無害波立てず
- 善人は人畜無害波立てず
- 善人が悪役になす云達者
- 善易す善人ぶつたお節介
- 善人が悪役になす云達者
- 気の弱い善人ばかり尙あかず
- 善人の裏に苦労の家族あり

川柳遊芳会

奥深き古典じめとく樂しましよ
伊藤寿美恵
無情の雨はハス怨をうつ
菜の花にまみれむものと來し四國
岸田光博
精いっぱいに春陽を謳歌す
春の草の可憐な花を頂きて
大塚ちよ
濃きむらさきに和む馬込路
坂道のなだりに咲きし紫陽花の
藤崎誠之
読み返すたび心ぬくもる

短歌

記念誌の写真柴陽花咲く庭に
しやばん玉色をとばして割れにけり
菖蒲田の数へる程に咲き初めし
夏至近し日輪高く高くあり
木漏れ陽の庭でじやれあつ仔猫かな
南馬込一 永山 和枝
南馬込一 森岡 達吾
中馬込三 石川 慎子
菖蒲田の数へる程に咲き初めし
伊藤 俊子
沢根 沢子
兵藤 芳子

(5) 登山費用は15円～17円程度で、毎年3円ずつ五年間積立て、講中の人々がくじ引きで順番を決めて登山に出発しました。

(6) 梅雨あけの7月20日頃に出发し、七泊八日が基準だったりです。

(7) 富士山は女人禁制の山で、女性が登るにはできなかつた。

(8) 江戸時代の一時期四合四勺まで庚申の年に(60年に一度)登山を許したものもあつたが、通常は一合目の女性擁拝所まででした。

(9) 女性の登山が解禁となるのは、明治5年3月の次の太政官布告が出されてからであります。

(10) 太政官布告 神社仏閣地に女人結界之場所有之候処、自今被廢止、登山參詣可為勝手候事

この灯笼は約百七十年前の文化
灯笼があります。
「東のお灯笼」とよばれてきた石
南馬込二丁目十一番に、昔から
先達は少なくとも33回以上富士
山に登ったといつあるべランで、
登山講中の先達をし、中山の要所
要所での「様」の導師となりたり

頗しくして造立されたものであります。合石には講中の約百八十人の名前が、馬込の谷別に刻まれています。この頃の馬込村の戸数は三〇七戸でしたから、半数以上の人々がこの講に加入していましたといふります。江戸時代はまだ明治にならぬても村人の業としてしばしば、村の集まりなどが主なものでした。鎮守のお祭りや、念佛講、庚申講、山に登り、帰りに江の島、鎌倉を見物する旅は、一生に一度の樂みだつたようです。

◎先達(先立)

講には先達がおり、ふだんは

氣治癒や災難除けの祈りつむじ

① 鹿入(新幹線)に集合。安全のおはらいを受ける。

② 大糸線から磐梯電車(JR)万世線にて中央線に乗り換え。

③ 中央線到川俣(磐梯高原駅)にて下車。

④ おいて高尾山茶王寺朝拜。

⑤ 再び中央線大月駅下車。磐梯見物。一泊。

⑥ 至日、徒歩で高士吉田口着。(夕方)

⑦ 三日目、午前3時磐梯山駆除。五合目小糸村社を経て七合五丈「磐梯の室」にて泊まり。

⑧ 四日目、早朝出発。頂上で未光を仰ぐ。

⑨ 下山。猿走りを経て、磐梯にて泊まり。

⑩ 五日目。大山阿夫利神社に参拝し、泊まり。

⑪ 大日目。平坂まで徒歩。磐梯を経て、江ノ島見物。

⑫ 七日目。磐舟見物。磐舟から磐梯電車で川俣駅。川俣大森大糸踏切で「山札」。全員集会を経て盛大な酒盛り。

⑬ 八日目。「記念ム」を唱えながら帰村。

⑭ 着った後、旅館の寮を宿として「おはらい」つまり反省会。

